

館野泉

Izumi Tateno

サロンコンサート



やまがた
文化の回廊
フェスティバル

2021.3.20-28
(土・祝) (日)

館野泉(ピアノ)

宮澤賢治
の世界



©満田聡

矢口里菜子(チェロ)



©平館平

ヤンネ 館野(ヴァイオリン)



朗読・柴田 暦

「左手のピアニスト」館野泉が
山形交響楽団首席奏者と
織りなす天空の世界

宮澤賢治の世界をめぐる
東北のダイナミックな自然の営みと
本物の芸術をつなぐ「文化の回廊」。
千載一遇の機会をお見逃しなく！

2021
3/25 (木) 19:00開演
(18:30開場)

Program

- 久保 禎 / 「五つの風景画」より <串木野ささ>による <鹿児島ハンヤ節>による 山川町利永<琉球人踊>による
※「館野泉左手の文庫」助成作品 館野泉とヤンネ館野に捧ぐ
- 谷川賢作 / スケッチ オブ ジャズ2 「5つの組曲」(館野泉に捧ぐ) ※「館野泉左手の文庫」助成作品
- 吉松 隆 / KENJI ~宮澤賢治によせる/ピアノとチェロと朗読のための(館野泉に捧げる)

会場 やまぎん県民ホール1階事務所前スペース 無料(全席自由) ※事前申し込み必要(チケット制) 協力 ●佐藤直記(映像提供)

※当日はチケットに記載された通し番号順に会場にご案内します。

申込開始 電話・インターネット > 1/30(土)10:00
窓口 > 1/31(日)10:00

申込方法 やまぎん県民ホール チケットデスク

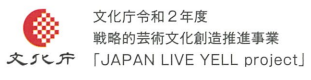
【電話】023-664-2204 (休館日を除く10:00~19:00)
【窓口】ホール1階事務所 (休館日を除く10:00~19:00)
【インターネット】(24時間) <https://yamagata-bunka.jp>

お申し込み・お問い合わせ
やまぎん県民ホールチケットデスク
023-664-2204
(休館日を除く10:00~19:00)

※感染状況等により出演者や曲目、公演内容に変更が生じる場合がございます。※会場は寒くなることが予想されますので、防寒対策をお願いいたします。※お申し込みが定員を超えた時点で締め切りといたします。※貴重品等、盗難の責任は負いかねますので、各自管理をお願いいたします。※録音、録画は固くお断りいたします。※感染症対策といたしまして、マスクの常時着用とお客同士の大声での会話はお控えくださいませうお願いいたします。※映像を投影するため、開演後は会場内が暗くなります。ご了承ください。

託児サービス(事前予約制)をご利用いただけます。
ご予約・お問い合わせ > やまぎん県民ホール
TEL:023-664-2220 (休館日を除く9:00~22:00)

主催:文化庁 / 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 / 山形県総合文化芸術館 指定管理者 みんなぐるやまがた 後援:山形県・山形市



ライブへのエール。ライブからのエール。



星を見上げること・・・雄大な自然に身を委ねること・・・

心震える音楽を聴いて涙すること・・・そんなことがまた日常になるように。

ただ座って耳を傾けるだけで力が満ちてくるような時間になることを祈って、この演奏会を開催いたします。

左手のピアニスト 館野泉、山形交響楽団が誇るヴァイオリニスト ヤンネ館野とチェリスト 矢口里菜子、

朗読に柴田暦を迎え、お贈りする宮澤賢治の世界。

やまぎん県民ホール「つむぐピアノ」に新たに紡がれる夢をどうぞお楽しみに！



館野 泉 Piano

クラシック界のレジェンド、84歳ピアニスト。東京生まれ。1960年東京藝術大学を首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。1981年以降、フィンランド政府の終身芸術家給与を受けて演奏生活に専念する。領域に捉われない、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。これまで北米、南米、オーストラリア、ロシア、ドイツ、フランス、北欧諸国を含むヨーロッパ全域、中国、韓国、フィリピン、インドネシアなどアジア全域、中東でも演奏会を行う。人間味に溢れ、豊かな叙情をたたえる演奏は、世界中の幅広い層の聴衆から熱い支持を得て、深く愛され続ける。これまでにリリースされたLP/CDは130枚におよぶ。ピュアで透明な旋律を紡ぎ出す、この孤高の鍵盤詩人は、2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。「館野泉の左手」のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲をこえる。命の水脈を辿るように取り組んだ作品は、拓いたジャンルをも飛び越え、ただそこにある音楽だけが聴くものの心に忘れがたい刻印を残す。2012年以降は海外公演も再開し、パリやウィーン、ベルリンにおいても委嘱作品を含むプログラムでリサイタルを行い、満場の喝采で讃えられた。80歳傘寿記念公演では、自らに捧げられた作品2つ、左手作品の最高峰ラヴェルとヒンデミット、この4つのピアノ協奏曲を一気に演奏。2019年は日本とフィンランド国交100周年親善大使として、5月にラ・テンベスタ室内管弦楽団(フィンランド)日本公演を5都市で行なった。2020年、演奏生活60周年を迎えた。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。新刊「館野泉フォトストーリー(求龍堂刊)。オフィシャル・ホームページ <https://www.izumi-tateno.com/>



山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者

ヤンネ 館野 Violin

フィンランド・ヘルシンキ生まれ。オーストラリアにてジュリアン・クイリット、フィンランド・ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・バルホメニコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子の各氏に師事。室内楽をイェルツィ・ゲベルト、バロック音楽をデビッド・シュレーダー両氏より学ぶ。1998～2007年オウルンサロ音楽祭(フィンランド)に出演。ソリストとして大阪チェンバーオーケストラ、東京エラート室内管弦楽団、山形交響楽団と共演。2011年東京文化会館にてデビューリサイタルを行う。2015年ヘルシンキにてW.ケンプのヴァイオリンコンチェルトを演奏。現在横浜に在住し、日本各地にて室内楽、オーケストラ奏者、ソリストとしても活動。ヘルシンキを拠点とするラ・テンベスタ室内管弦楽団のコンサートマスター、音楽監督を務める他、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰長岡京室内アンサンブルのメンバーとしても活躍。またアルゼンチンタゴのタンゲロス・ポラレス(フィンランド)タンゲロス・アルティコス(日本)での出演などフィンランドと日本2つの祖国において幅広い活動を展開。2017年アンサンブルMIDORIを結成自主企画室内楽コンサートシリーズを開始。2018年ソロCD「Janne Plays Sibelius」(レコード芸術準特選)リリース。

ホームページ: jannetateno.com



山形交響楽団首席チェロ奏者

矢口 里菜子 Cello

祖父が山形県出身。5歳よりチェロを始める。馬場省一、宮城健、山崎伸子、石坂田十郎の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部を経て、カール・マリア・フォン・ウェーバー・ドレスデン音楽大学に学ぶ。奨学生として参加した霧島国際音楽祭にて堤剛氏、シエナ・キジャーナ音楽院夏期国際マスタークラスにてD.ゲリンガス氏、札幌リスト音楽院セミナーにてM.ペレーニ氏のマスタークラスに参加。第31回霧島国際音楽祭賞。第10回ビバホールチェロコンクール第1位。東京・第一生命ホールにてリサイタルを開催。ドレスデンにてザクセン州立警察オーケストラとグルダ「チェロとバス・オーケストラのための協奏曲」を共演。在ベルリン日本国大使館における演奏会等、欧州各地で演奏。在学中にカルテットを結成し、リゾナーレ音楽祭、六花亭コンサートシリーズ他多数の演奏会に出演。ライブツィヒ弦楽四重奏団と共演。また東京藝術大学及びウイーン国立音楽演劇大学の共同プロジェクト「haydn total」(ハイドン弦楽四重奏曲全68曲CD録音)に参加。JTが育てるアンサンブルシリーズ、ラ・フォル・ジュルネ・エリアコンサート、東京・春・音楽祭、久石譲 presents ミュージック・フューチャー、宮崎国際音楽祭等に出演。小澤征爾音楽塾オーケストラ、ジャパン・ヴィルトゥオーゾシンフォニーオーケストラ、ナガノ・チェンバー・オーケストラ等に参加。紀尾井ホール室内管弦楽団に客演。2019年、藤岡幸夫氏プロデュース・日本主要オーケストラトッププレイヤーによる弦楽四重奏団「The 4 Players Tokyo」として活動開始。BSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック(毎週土曜日08時30分～)」に定期的に出演予定。同年4月、山形交響楽団 首席チェロ奏者に就任。

ホームページ: rinako.soundscape-net.com



柴田 暦 Reading

桐朋学園演劇科卒。演劇活動の後、次第にヴォーカリスト活動に移行。1999年より、パフォーマンスグループ(時々自動)(主宰/朝比奈尚行)の公演、及びコンサートに歌手・パフォーマーとして出演。「幽霊はここにいる」(演出/串田和美)、4ヵ国共同作品「演じる女たち」(演出/アヌラダ・カプール)等の演劇作品に歌手・歌手として、また、画家・富山妙子作品展(越後妻有アートトリエンナーレ)に出演するなど、演劇やアートとの交差も多い。現代詩や自身の書くナンセンス詩の朗読も行う。高瀬アキ(Pf)、ブルーノ・カニオーノ(Pf)、大友良英(G)、関根真理(Per)等と共演。CDに、Cb.河崎純とのデュオ<ユニ・マルカ>(ZIPANGUレーベル)。ブログ「暦の暦(れきのごよみ)」<http://rekikoyo.exblog.jp>

映像制作 佐藤 直記

Naoki Sato

有限会社マン・クリエイト代表取締役。アートディレクター・グラフィックデザイナー・フォトグラファー・ドローングラファーマー。1965年宮城県仙台市生まれ。1989年マン・クリエイト設立。2017年よりネイチャーフォト・ドローンムービー業務を開始。山形ドローンムービーコンテスト2018最優秀賞・2019最優秀賞。Japan Drone Expo Drone Movie Contest 2019 Dron e motion賞。有限会社マン・クリエイト <https://www.man-c.com>

やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)

〒990-0828山形県山形市双葉町1-2-38

TEL 023-664-2220(開館時間 9:00~22:00) FAX 023-664-2209 WEB <https://yamagata-bunka.jp>

【休館日】毎週火曜日(祝日の場合はその直後の平日)および年末年始(12月29日~1月3日)

※敷地内の「県民へにばな駐車場」(有料366台)は数に限りがありますので、公共交通機関及び近隣の有料駐車場もあわせて御利用ください。 ※駐車場は大変混み合います。時間に余裕をもってご来場ください。

新型コロナウイルス
感染予防対策に
ご協力をお願いいたします。

- マスクの着用、館内入口での検温、手指の消毒をお願いいたします。
- 咳やくしゃみをする際に口元を覆う「咳エチケット」にご協力ください。
- 咳、喉の痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。



JR山形駅西口より徒歩1分